

### 東日本大震災(2011年3月11日)のとき

- ・当時小学校2年生
- ・田辺市でも大津波警報が流れた。

Aさん...友達といっしょに家に帰っている途中だった。途中でおじさんに「警報が出たからはよ帰りよし。」と言われて急いで帰った。

B君...地震発生時は家にいた。お母さんとの約束では学校に避難することになっていた。一度家を出て学校に行こうとしたが、途中で友達の家に行って遊んでいた。お母さんはこのB君を探し回った。

Cさん...家にいた。放送は聞こえたけれど、何もせずそのまま遊んでいた。

- 津波が来るかもしれないと思い、家の二階や屋上に上がった児童は数名。
- ほとんどの児童は避難しなかった。



### シンサイミライ学校以前の児童の実態

- ①津波の怖さを知らない。
- ②逃げなければいけないと分かっているけどどこに逃げればよいか分かっていない。
- ③津波が来ると分かったときの行動を家族で話し合っていない。

### 津波の怖さを知る その1

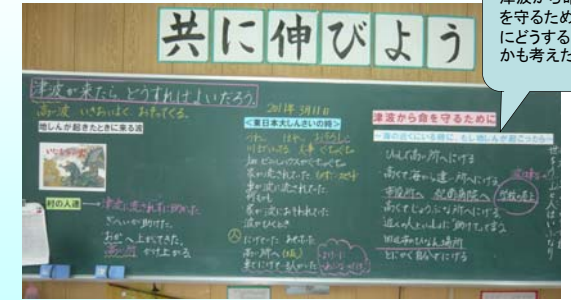
- ◆2012年5月 小学校4年生
- ①「いなむらの火」の紙芝居



### 津波の怖さを知る その2

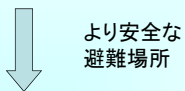
- ②東日本大震災の映像 <児童の感想>
- ・津波が来て人々はあせっていた。車で逃げても津波におそわれたら逃げられなくなると思った。
- ・津波はものすごいスピードで来ていました。木も家も船もいろいろな物が流されていてこわかった。
- ・津波はものすごいスピードで勢いよく来るからとてもこわいと思った。もし家族が死んでしまって独りぼっちになったらどうしようと思った。

### 防災授業の板書



### 避難場所を知る

- ◆とにかく高くてじょうぶで海から遠い所
- ・紀陽銀行
- ・玉置病院
- ・NTT
- ・学校の屋上
- ・愛宕山



・オーシティ



### 学校からオーシティへの避難訓練

- ◆学校からオーシティまでは1.4Kmくらい
- 保護者の方といっしょにグループで避難訓練



### 家で一人にいるときに地震が起こったら...

- ◆シンサイミライ学校以前
- ・家族に連絡して、帰ってくるまで待っておう。
- ・家族が迎えに来てくれるまで待っておう。
- ・帰って来るのを待って、家の人といっしょに逃げよう。



片田先生は

みんなを助けに来た家の人はどうなるのだろう？  
逃げ遅れたりしないのかな？

## 「津波てんでんこ」



### ◆三陸地方に伝わる津波から子孫を守るための知恵

地震があったら、家族のことさえ気にせず、てんでばらばらに、自分の命を守るために、一人ですぐに避難せよ。

## アニメ 「約束の命」



家族がお互いに一人ひとりがちゃんと逃げることが信じ合っていて、一人ひとり別々に逃げるのが、家族一人ひとりの命を守ることになる。

## 授業後の感想

学習をする前は、津波が来ると分かってても、自分一人で逃げることは絶対にできないと思っていました。でも、学習した今では、自分一人でも逃げないと、自分も家族も死んでしまうかもしれないということが分かって、「自分で逃げよう」と思うようになりました。家族とも「私は一人でもちゃんと逃げるから、お母さん達も逃げてな。」と約束しました。

学習をする前は、津波がくると分かったときに、どこに逃げればいいのか分からなかったけど、今は、安全な高い所に逃げようと思います。自分の命は自分で守るということも学んだので、できるようにがんばりたいと思います。もし津波がきたときに、家族を待っていたら自分の命も家族の命も危ないので、自分ひとりでもちゃんと逃げたいと思います。家族も安全な場所に逃げてくれると思います。

## シンサイミライ学校で学んだこと

### ●自分の命は自分で守る

「津波のことを知り備えること」「高いところ高いところへと逃げること」「自分から進んで逃げること」が大切である。

### ●家族の絆

みんなが助かるためには家族が互いに信頼し合うことが大切である。

### ●故郷田辺を愛する心

津波がくるかもと恐れて生活するのではなく、愛する故郷田辺から犠牲者を出さないために自分達が今できる最善のことを考え実行していくことが大切である。

## 「シンサイミライ学校」以降の防災学習

### 防災マップ作り

参観日の授業で、地区ごとに集まって、どこに逃げるのが安全か保護者の方と一っしょに話し合った。



話し合ったことをみんなの前で発表



## 防災マップ



- 自分の家と放課後よくいる場所
- 避難経路(色分け)
- 家の人との約束
- 避難にかかる時間

## 「シンサイミライ学校」以降

### ①家庭では・・・

- ・地震や津波について話す機会が増えた。
- ・防災グッズの点検や避難経路の確認をした。
- ・作った防災マップを使って避難訓練をした。

### ②保護者では・・・

- ・子どもだけでは心配・不安 ⇒「自分の命は自分で守る。自分ひとりでも逃げる」という子どもを信じよう。

### ③子どもは・・・

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>＜ある日の地震＞</li> <li>・学校の近くにいる児童は</li> <li>・家にいた児童は</li> <li>・帰る途中だった児童は</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>＜意識の変化＞</li> <li>・子どもから大人に伝えていかなければならない。</li> <li>・いざという時は、私達高学年が低学年を連れて逃げないといけない。</li> <li>・家族って大切。</li> </ul> |
|---|--|

## 今、田辺第一小学校では

### 「自分の命は自分で守る」を合言葉に

- ①津波について知る。
- ②防災マップ作り
  - ・避難場所
  - ・避難経路
  - ・時間
  - ・家の人との約束
  - ・危険な場所
- ③避難訓練
- ④保護者への啓発

『犠牲者ゼロの田辺』を目指して